

## 笠間焼と樹脂グリップの融合商品開発

尾形 尚子\*

### 1. 緒言

「ひとにやさしい・やきものづくり」をテーマに製陶業者・医療福祉関係者と共に行っている笠間焼商品開発研究会の活動の一部として、笠間焼と樹脂グリップの融合商品開発を行った。茨城県デザインセンターの協力を得、(有)大光電機工業所の開発した樹脂製グリップと各窯元のカップを融合させ、嚙下時の腕と頭の姿勢を楽にし、また、高齢者や手の力の弱い方などに対応することにより、笠間焼にとって新たな付加価値をみいだせるのではないかと。

### 2. 内容

味気のないプラスチックのカップではなく、心の豊かさ、食の楽しさを味わってもらう為、カップは暖かみのある土ものの笠間焼を使用し、軽くて持ちやすい樹脂製のグリップを融合させることによって、その人にあった取っ手の角度等を調節出来るようになっている。

また、誤飲・誤嚥防止を考慮し、頭部全体を後ろにそらさなくても最後まで飲める角度として、カップの内側は3タイプの深さで制作した。

プラスチックとの融合部分は接着面を強くする為、できるだけ多くの面積を取れるようフジツボ型になっている。グリップの形状は、軽く持ちやすくする為、空洞になっている部分がある。アートセラピーを考慮して、ユーザーの好みの色を選べるよう5種類の色を用意している。

### 3. 結果

特許出願中。

現在、耐熱性・耐水性に優れている接着剤を検討中である。また、モニタリングを実施しており、モニターからのフィードバックを活かし更なる改良を行うと共に、製品化を図る予定である。



図2：軽くて持ちやすい樹脂グリップ



図1：笠間焼と樹脂グリップの融合カップ試作第1号



図3：笠間焼と樹脂グリップの融合カップ